

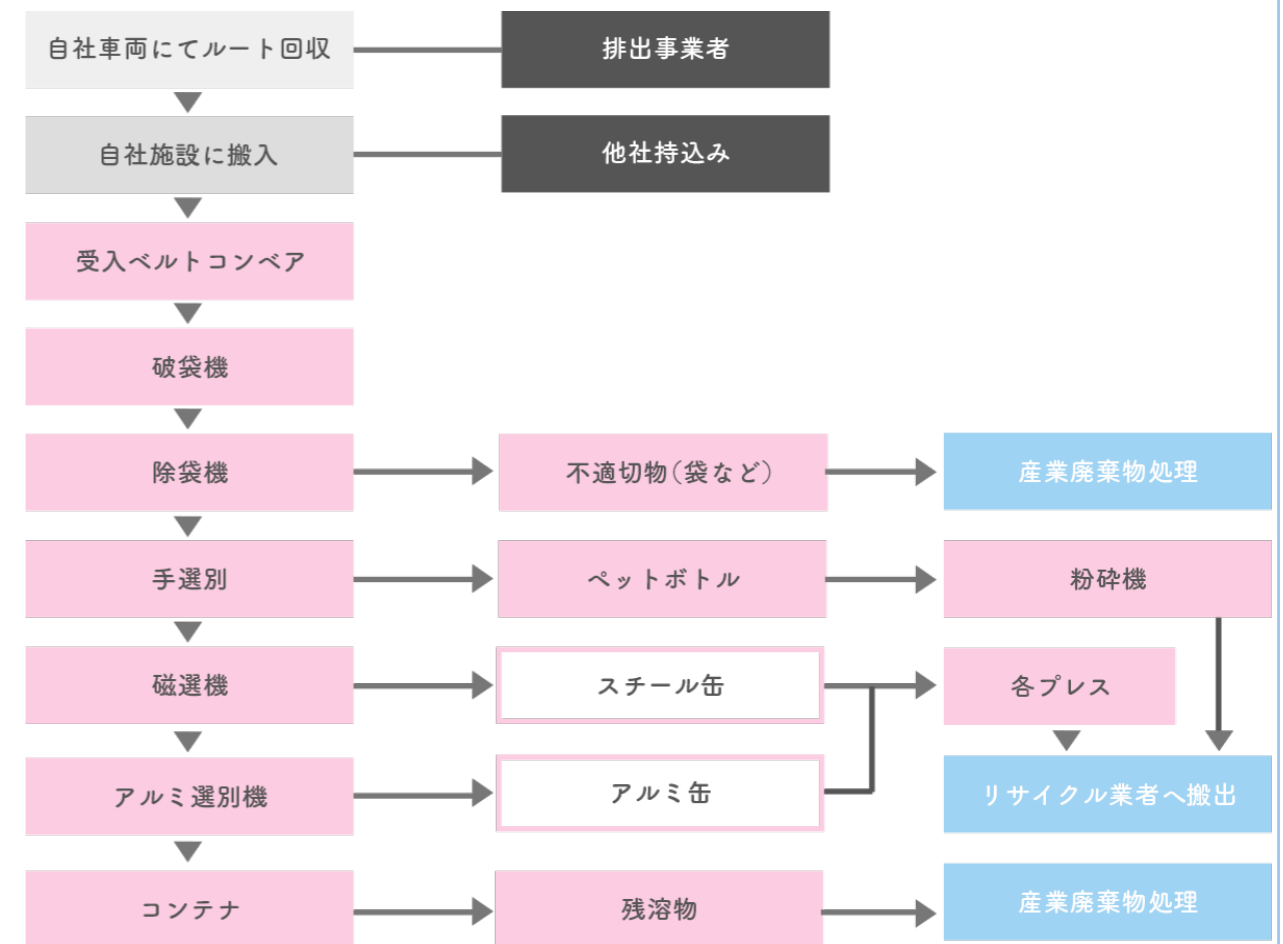
## 横浜環境保全株式会社

### 技術の概要

- 容器包装に使用されているガラス瓶、アルミ／スチール缶、ペットボトル、発泡スチロール等を分別、処理し、再生利用。

### 技術の優位性

- 混合廃棄物から、手選別及び機械選別により容器包装廃棄物を分別し、種類ごとに最適な技術によりサイクル資源に再生する。
- 市場やスーパーマーケットから回収した発泡スチロールについても、発泡溶融機にてインゴット(塊)に成型し、プラスチック製品の原料として利用。



## 横浜環境保全株式会社

### 技術の概要

- 生ごみ(一般廃棄物)や、動植物性残渣(産業廃棄物)等の有機系廃棄物をを発酵させ、有機肥料や土壌改良剤として再生する。

### 技術の特徴・優位性

- 生ごみ(外食産業及び給食)、コーヒーかす、剪定枝などを自然発酵させる堆肥化施設で、精製した安心・安全・無添加の有機肥料を製造。
- 投入する有機系廃棄物の成分に応じて、最適なコンポスト製品を製造する。

